

平成 29 年 12 月 20 日
しなの鉄道株式会社

沿線市町鉄道利用実態と人口動態

1. 目的

鉄道利用実態のデータを整理するとともに、沿線市町の人口動態などを把握・分析することにより潜在需要の喚起に向けた鉄道利用促進施策を検討する基とする。

2. 整理・分析

年度別輸送（しなの鉄道データ）、県・沿線市町統計書、経済センサス、人口ビジョン・総合戦略等のデータによる

3. 概況（詳細は別紙）

	乗車人員 増加率 ※H10 年を基準とした数値	構成 (普 勤 学)	人口 増加率 ※H12 年を基準とした数値	事業所 増加率 ※H13 年(経済センサス)を基準とした数値	従業者 増加率 ※H13 年(経済センサス)を基準とした数値	観光客 増加率 ※H10 年を基準とした数値
軽井沢町 (3 駅)	14.8% (H28: 826,824 人) (H10: 720,331 人)	6 : 2 : 2 (H10: 6:1:3)	18.1% (H28: 19,108 人) (H12: 16,181 人)	12.1% (H28: 1,730) (H13: 1,543)	16.2% (H28: 12,918 人) (H13: 11,115 人)	6.2% (H28: 8,457,800 人) (H10: 7,962,400 人)
御代田町 (1 駅)	5.3% (H28: 277,198 人) (H10: 263,356 人)	3 : 2 : 5 (H10: 4:1:5)	13.3% (H28: 15,198 人) (H12: 13,412 人)	▲0.2% (H28: 585) (H13: 586)	▲9.2% (H28: 5,987 人) (H13: 6,597 人)	▲16.1% (H28: 196,600 人) (H10: 234,400 人)
小 諸 市 (2 駅)	▲24.4% (H28: 905,107 人) (H10: 1,196,561 人)	3 : 2 : 5 (H10: 4:2:4)	▲8.4% (H28: 42,282 人) (H12: 46,158 人)	▲18.3% (H28: 2,087) (H13: 2,556)	▲13.8% (H28: 17,921 人) (H13: 20,793 人)	▲0.4% (H28: 980,400 人) (H10: 984,200 人)
東 御 市 (2 駅)	▲17.4% (H28: 581,358 人) (H10: 704,222 人)	3 : 2 : 5 (H10: 3:2:5)	▲3.2% (H28: 29,967 人) (H12: 30,947 人)	▲15.7% (H28: 1,314) (H13: 1,558)	0.3% (H28: 12,772 人) (H13: 12,729 人)	▲9.4% (H28: 872,400 人) (H10: 962,900 人)
上 田 市 (4 駅)	▲17.9% (H28: 2,976,926 人) (H10: 3,624,430 人)	3 : 2 : 5 (H10: 3:3:4)	▲6.1% (H28: 156,383 人) (H12: 166,568 人)	▲15.4% (H28: 7,661) (H13: 9,058)	▲10.8% (H28: 71,718 人) (H13: 80,363 人)	191.4% (H28: 4,615,900 人) (H10: 1,584,300 人)
坂 城 町 (2 駅)	▲15.8% (H28: 470,283 人) (H10: 558,224 人)	3 : 3 : 4 (H10: 3:3:4)	▲13.0% (H28: 14,647 人) (H12: 16,830 人)	▲17.4% (H28: 661) (H13: 910)	▲6.5% (H28: 8,050 人) (H13: 8,613 人)	▲29.7% (H28: 7,800 人) (H10: 11,100 人)
千 曲 市 (4 駅)	▲13.0% (H28: 1,719,077 人) (H10: 1,975,677 人)	3 : 3 : 4 (H10: 3:4:3)	▲7.0% (H28: 60,019 人) (H12: 64,549 人)	▲22.4% (H28: 2,712) (H13: 3,496)	▲11.8% (H28: 23,815 人) (H13: 26,989 人)	▲9.8% (H28: 459,400 人) (H10: 509,500 人)
長 野 市 (1 駅)	▲25.0% (H28: 2,482,806 人) (H10: 3,308,540 人)	2.5 : 4 : 3.5 (H10: 3:4:3)	▲3.0% (H28: 376,202 人) (H12: 387,911 人)	▲15.1% (H28: 19,676) (H13: 23,189)	▲14.1% (H28: 179,647 人) (H13: 209,065 人)	5.9% (H28: 10,502,700 人) (H10: 9,918,200 人)

※各市町の平成 12 年の人口は、合併前の市町村人口を含めて掲載

※長野市乗車人員データは、篠ノ井駅のみ掲載

※長野市の人口、事業所、従業者数は長野市全体の数値を掲載

※観光客数は地方事務所別統計資料の数値を基に作成

※観光客数は年度により変動あり 例) : NHK 大河ドラマ「真田丸」効果など

4. 追記事項・所見など

	内 容
軽井沢町	<ul style="list-style-type: none"> ○ 普通ローカル（増加 13.5%） ○ 通 勤 定 期（増加 104.4%） ○ 通 学 定 期（減少 ▲13.8%） <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光客数の増加があるが、季節による変動が大きい ・ 星野リゾート、軽井沢プリンスなど事業所及び従業員の増加が一因と思われる ・ 平成 22 年度 町内常住の就業者・通学者 9,236 人のうち、町内通勤・通学者 6,994 人(75.7%)、佐久市(5.2%)、小諸市 443 人(4.8%) ・ 宿泊業・飲食業就業者数が 3,592 人と最も多く、そのうち 1,596 人(44.4%)が他市町から通勤次いで、卸売業、小売業が 2,359 人で、そのうち他市町村常住の就業者は 1,185 人(50.2%) (※軽井沢町統計書より抜粋) ・ 人口の増加が見られる反面、児童・生徒数(将来世代)は減少傾向にある
御代田町	<ul style="list-style-type: none"> ○ 普通ローカル（減少 ▲2.1%） ○ 通 勤 定 期（増加 29.4%） ○ 通 学 定 期（増加 3.3%） <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光客数の減少と比較すると、普通ローカル(定期外)の減少率は抑えられている ・ 生活圏として町に常住し、他市町村への通勤者が増加していると思われる ・ 平成 27 年度の町民アンケート調査によると、町内勤務者 35%、隣接市町村(佐久市・小諸市・軽井沢町)の合計は 56%であった (※御代田町の統計より抜粋) ・ 人口の増加とともに、児童数(将来世代)も増加している
小 諸 市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 普通ローカル（減少 ▲38.4%） ○ 通 勤 定 期（減少 ▲36.9%） ○ 通 学 定 期（減少 ▲4.0%） <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光客数全体ではほぼ横ばいであるものの、観光地別では、懐古園は減少し、布引観音などは増加傾向にある ・ 普通ローカル小諸駅利用状況は、平成 10 年度 427,282 人から平成 28 年度 263,087 人 ▲38.3% ・ 市内事業所の従業者数は通勤定期利用者ほど減少していない ・ 通勤定期小諸駅利用状況は、平成 10 年度 289,703 人から平成 28 年度 178,978 人 ▲38.2%
東 御 市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 普通ローカル（減少 ▲19.9%） ○ 通 勤 定 期（減少 ▲12.2%） ○ 通 学 定 期（減少 ▲18.4%） <ul style="list-style-type: none"> ・ 普通ローカル田中駅利用状況は、平成 10 年度 149,224 人から平成 28 年度 114,581 人 ▲23.2% ・ 市内事業所の従業者数は増加しているものの、通勤定期利用者の増加には繋がっていない
上 田 市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 普通ローカル（減少 ▲26.4%） ○ 通 勤 定 期（減少 ▲22.0%） ○ 通 学 定 期（減少 ▲8.6%） <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光客の増加と乗車人員の増加が一致していない ・ 観光客は平成 28 年度の NHK 大河ドラマ「真田丸」の放映効果など年度により変動があるものの、平成 28 年度単年で見ても観光客数の大幅な伸びがある一方、しなの鉄道普通ローカル(定

上田市	<p>期外)の増加には繋がっていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新幹線利用者、観光バスの利用者の影響も一因と思われる ・ 普通ローカル大屋駅利用状況は、平成10年度182,217人から平成28年度89,585人 ▲50.8% ・ 普通ローカル上田駅利用状況は、平成10年度953,725人から平成28年度677,187人 ▲32.0% ・ 通勤定期については、平成15年に信濃国分寺駅が開業したことにより、上田駅利用者が信濃国分寺駅利用に変えた可能性があるものの、上田管内全体として平成10年度934,938人から平成28年度729,301人 ▲22.0%と減少している ・ 平成22年度の上田市調査によると、就業者数78,219人のうち、他市町村への通勤者は12,990人であり、その内訳(上位3市町)は東御市3,932人30.3%、長野市2,358人18.2%、坂城町1,617人12.4%である。一方、他市町村からの通勤者は14,686人で、その内訳(上位3市)は東御市4,721人32.1%、千曲市1,950人13.3%、長野市1,943人13.2%である。 <p>(※上田市統計書より抜粋)</p>
坂城町	<ul style="list-style-type: none"> ○ 普通ローカル(減少 ▲19.2%) ○ 通勤定期(減少 ▲8.4%) ○ 通学定期(減少 ▲18.8%) <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所数・従業者数の減少と、通勤定期利用者数の減少は相関関係にあると思われる ・ 児童・生徒数(将来世代)の減少が目立つ。平成13年度を基準とした小学校児童数は、平成13年度1,044人から平成28年度779人 ▲25.4%であり、中学校生徒数は、平成13年度540人から平成28年度379人 ▲29.4%となっている (※坂城町統計書より抜粋)
千曲市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 普通ローカル(減少 ▲29.7%) ○ 通勤定期(減少 ▲22.5%) ○ 通学定期(増加 14.1%) <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光客の増加率と乗車人員の増加率が一致していない ・ 15歳以上就業者の従業地別利用状況においては、他市町に通勤(流出)が平成17年度11,484人から平成22年度11,474人とほぼ横ばいである。(上位3市町: 長野市7,300人から7,355人、上田市1,446人から1,533人、坂城町1,821人から1,692人) ・ 他市町から千曲市に通勤(流入)は、平成17年度7,156人から7,329人と増加している。(上位3市町: 長野市4,865人から4,991人、坂城町878人から916人、上田市631人から742人) (※千曲市統計書より抜粋) ・ 他市町村との流動人数は増加しているものの通勤定期の増加には繋がっていないと思われる ・ 他市町村に通学する人数(流出)は、平成17年度2,043人から平成22年度2,073人 ・ 他市町村から千曲市に通学する人数(流入)は、平成17年度799人から平成22年度775人 (※千曲市統計書より抜粋) ・ 屋代高校前駅(平成13年度)及び千曲駅(平成20年度)が開業したことにより、千曲市に常住する通学者の鉄道利用も増加している可能性がある。
長野市	<ul style="list-style-type: none"> ○ 普通ローカル(減少 ▲40.1%) ○ 通勤定期(減少 ▲25.9%) ○ 通学定期(減少 ▲6.2%) <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光客の増加率と乗車人員の増加率が一致していない ・ 通勤利用者の増加率と、事業所及び従業者の増加率が一致していない ・ (参考)篠ノ井地区の人口は増加している

5. 今後の進め方（素案）

- ・ 事業所数、従業者数の減少を上回って通勤定期利用者が減少していることから、その要因を探る調査を優先的に実施したい。
- ・ 実務担当者レベルによるワーキンググループを定期的を開催し、データの分析をすすめながら、調査方法等検討したい。
- ・ まずは、本年度内（平成 29 年度内）に、第 1 回ワーキンググループを開催したい。

以上